

単年度水道事業評価シート(令和元年度)

1 事業情報

目指すべき方向性	強靱	基本政策	2 安定・快適な水道水の供給	施 策	2-4 漏水対策の強化	事 業	2-4-3 私道内給水管布設替整備補助の促進
----------	----	------	----------------	-----	-------------	-----	------------------------

2 事業評価の概要

視点	内容							
何のために【政策】	快適な生活のために、浄配水場や配水管の計画的・効率的な更新および適切な維持管理を行うとともに、非常時の被害を最小限にする管網の整備を推進し、様々な漏水対策を図り、常に安定した水圧で途切れることなく水道水を供給します。							
どんな問題を解決するか【事業目的】	・補助金を交付することにより私道内の給水管布設替整備工事を促進し、給水管の老朽化に伴う出水不良および漏水多発等の解消に努め、給水の安定と漏水率の低減を図ります。							
どのような道筋で【目標】 (単年度)	お客様の申請に基づき19路線の老朽管をステンレス鋼管に布設替えることにより、出水不良や漏水を解消し、給水管網の整備促進を図る。引き続き、申請予定件数の把握に努め、補助金の予算執行を適正に実施する。							
期間	平成31年4月 ～ 令和2年3月							
いくらかけて【予算額・決算額】		予算額			決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	30,000	30,000	0	3,397	3,397	0	11%
	工事費	0			0			
	原材料費	0			0			
	委託料	0			0			
	賃借料	0			0			
	その他	30,000	30,000		3,397	3,397		11%
	人件費	13,430	13,430		13,430	13,430		100%
どういう成果を達成するか【成果指標】	目標とする19路線の出水不良や漏水の解消と給水管網整備により、お客様の利便性が向上された状態。制度を積極的にPRすることが重要であり、川口市上下水道局ホームページで目立つようにしたり、水道広報誌等で利用者に周知していく。							

3 プロセス結果の検証

評点	視 点	内 容				
中間評価	上半期何をどのように 執行したか 【現状把握】	申請を受理する際に、申請者との十分な打合せと審査を行い、円滑に事業が進められるように努めた。管網の整備促進を図るための申請は、2件受理し、補助金交付予定額は、3,468千円で予算に対する執行率11.6%である。なお、申請に係る事前相談は、8箇所である。(9月30日現在)				
70点	下半期 改善すべき点 は何か 【改善目標】	お客様の要望に応えられるよう補助金交付要綱に基づき、引き続き適正な事業ができるよう進めていく。私道内給水管布設替整備補助制度の利用促進を図るため、類似の制度を持つ下水道維持課・道路維持課と連絡調整しながら、補助金交付要綱の改正を進めていく。				
	どのくらい進んだか 【進捗度】	執行(契約)事業費	2,468千円	事業進捗度	自己評価	C 成果は出ているが予定に達していない
		予算執行率	12%		評価者結果	C 成果は出ているが予定に達していない
終了時評価	どうい う 成果を 達成したか 【達成状況】	お客様の要望に応えられるよう補助金交付要綱に基づき適正な事業運営を行ったが、24路線の相談を受ける中、申請は2路線であり、79mの布設替を行った。当初予定していた目標延長(500m)には及ばなかった。今年度は、申請のあった私道2路線について出水不良や漏水が解消され、管網の整備、顧客の利便性が図られた。				
70点	次年度に 解決すべき点 は何か 【次年度 解決策】	私道補助の申請は、担当職員が申請件数を正確に予測することが困難であるが、お客様や指定給水装置工事事業者からの問い合わせ及び他課の補助金制度利用状況等の情報を把握し、適切に事業を進めていく。また、制度を積極的にPRすることが重要であり、川口市上下水道局ホームページや広報誌「みずぐるま」等で利用者に周知していく。次年度は、早期にすべての公民館においてポスターを掲示しPRする予定である。				

単年度水道事業評価シート(令和元年度)

4 改善経過の点検と評価

視 点		項 目	評 点	5 常に 全員	4 概ね 多数	3 一部	2 あまり～ない	1 ほとんど～ない	中間	終了
人 員		意識	この事業による社会全体への貢献を職員は常に意識していますか？						4	4
		適材適数	業務の適正に応じた柔軟な偏りのない業務分担を行っていますか？						4	4
中間	16	成果	課の職員が事業の成果や目的を意識していますか？						4	4
終了	16	連携	この事業に必要な連携(局内・市長部局・委託業者等・県等)はできていますか？						4	4
手 段		手段	目的達成に必要な手段や方法は、既成概念に囚われず、新たな視点で検討していますか？						3	3
		可視化共有	目的達成に必要な手段や方法を、可視化し、情報共有していますか？						4	4
中間	14	方法	当初計画や予定よりも優れた代替方法を検討していますか？						3	3
終了	14	目的化	この事業は、上位目的達成の手段として有効であることが、組織で理解されていますか？						4	4
工 程		進め方	目的を達成する工程が、全体最適の視点から作られていますか？						3	3
		合目的性	水道利用者の視点に立ち、ニーズや利便性を反映した改善をしていますか？						3	3
中間	14	学習	課題・問題点が発生したら、その都度、プロセス全体を検証し改善していますか？						4	4
終了	14	当事者意識	職員が主体的に行動していますか？						4	4
予 算		利益	上下水道局の利益ばかりでなく、社会全体の利益まで意識していますか						4	4
		効果効率	より低いコストで成果をあげる工夫を施し予定以上の費用対効果を出していますか						3	3
中間	13	コスト検証	当初計画や予定よりも優れた代替方法による予算の効率的活用が常に検討されていますか						3	3
終了	13	成果	成果指標を上まわっていますか						3	3
期 間		タイムマネジメント	工程を構造化したタイムスケジュールを可視化・共有し、停滞時間削減に取り組んでいますか？						3	3
		タイムコスト	時間＝コストを意識し、ムリ・ムラ・ムダの検証を行っていますか？						4	4
中間	13	期間の設定	業務集中を避け、局全体の事業執行を最適化するように期間を設定していますか？						3	3
終了	13	成果達成	短期間で成果を達成するよう、期間を検討し、進捗を確認、期間修正を行っていますか？						3	3

5 事後評価

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R1	R2	R3	
指標名	私道内給水管布設替延長	単位	m	目標値	500	500	500	
算出式・根拠				実績値	79			
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
視点	自己評価	評価根拠の説明(自己評価の根拠を具体的に記述します。不達成の場合は、原因、改善策を明示します。) A＝予定以上の成果を上げた / B＝予定通りの成果を上げた / C＝成果は出ているが予定に達していない D＝結果は出ているが成果は出していない / E＝不十分な結果にとどまる、または結果が出ていない						評価者 結果
達成度	B	住民や給水装置工事事業者からの相談が24路線あったが、そのうち申請されたものは2件となった。また、目標値の500mに対し79mの給水管布設替を行い、12給水世帯の出水不良の解消が図られた。						B
効率性	B	相談があった路線については、可能な限り速やかに、補助対象事業に該当するかを判断した。また、申請に至った路線については滞りなく適正に補助事業を執行した。						B
有効性	B	私道補助事業における私道の件数は全市的にみれば僅かであるが、利用者の自発的な布設替を支援する事業であり、毎年度確実にステンレス鋼管に布設替えをしており、出水不良や漏水量の削減に貢献した。						B
説明責任	B	私道補助事業に関する相談や要望に対しては個人情報に配慮しつつ真摯に対応した。なお、相談の際には補助事業のほかに老朽給水管布設替工事に該当しているかということも確認した。						B
組織学習	B	私道補助事業は上下水道局側で申請件数を正確に予測することが困難であるが、住民や給水装置工事事業者からの相談や問い合わせなどを記録し、係内で情報を共有化することにより、適正かつ有効な予算執行を行った。						B
総合評価	B	今後も引き続き、私道内給水管の漏水防止及び出水不良解消を目的とした補助事業について検討していく。					次年度方針 現状維持で継続	B